

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和6年10月30日(水)
感染症対策センター
(衛生環境研究所)

令和6年第36週から第39週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(36週～39週)4週 (R6.9.2～R6.9.29)	前回(32週～35週)4週 (R6.8.5～R6.9.1)	前々回(28週～31週)4週 (R6.7.8～R6.8.4)
1 新型コロナウイルス感染症 (625) [↓704]	1 新型コロナウイルス感染症(1,329)	1 新型コロナウイルス感染症 (1,530)
2 手足口病 (611) [↑272]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (364)	2 手足口病 (496)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(400) [↑36]	3 手足口病 (339)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (405)
4 感染性胃腸炎 (257) [↑67]	4 感染性胃腸炎 (190)	4 RSウイルス感染症 (236)
5 RSウイルス感染症 (84) [↓26]	5 RSウイルス感染症 (110)	5 感染性胃腸炎 (228)
6 その他 (113) [↓60]	6 その他 (173)	6 その他 (242)
(合計 2,090)	(合計 2,505)	(合計 3,137)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は2,090件であり、17%(415件)の減となった。

増加した疾病	減少した疾病
手足口病 80%	インフルエンザ 78%
感染性胃腸炎 35%	新型コロナウイルス感染症 53%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 10%	RSウイルス感染症 24%
	ヘルパンギーナ 20%

3 コメント

【手足口病】

県内全域に警報を発令しています。飛沫や手指を介して感染し、便にもウイルスが排出されます。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前の手洗いの徹底、換気などの感染予防をお願いします。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

県内全域に警報を発令しています。手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

また、まれにA、B、G群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行することがある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が全国で増加しています。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合がありますため、土に触れた手などの不潔な手で直接傷口を触らないなど、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

【新型コロナウイルス感染症】

県内全域に発令していた感染注意情報を9月4日に解除しましたが、依然として一定数の患者報告が続く、集団感染事例も散発しています。手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。

【百日咳】

6月以降、東部地区で小学生から高校生を中心に流行が続いており、注意が必要です。有効な予防法は予防接種ですが、ワクチンの免疫効果は4～12年で弱まってくるといわれており、乳幼児期に接種した方でも感染することがあります。咳などの症状がある場合は早めに受診し、手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

【マイコプラズマ肺炎】

全国的に感染者数が増加しています。本県は全国と比較すると低い水準ですが、増加傾向となっています。手洗い、咳エチケット及びタオルの共用を避けるなどの感染予防をお願いします。

【ダニ媒介感染症】

ダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱の感染報告が続いていますので注意しましょう。マダニは春から秋にかけて活発となることから、野山等に入るときは、長袖、長ズボンの着用、ダニ忌避剤の使用などの予防対策をとることが必要です。

【梅毒】

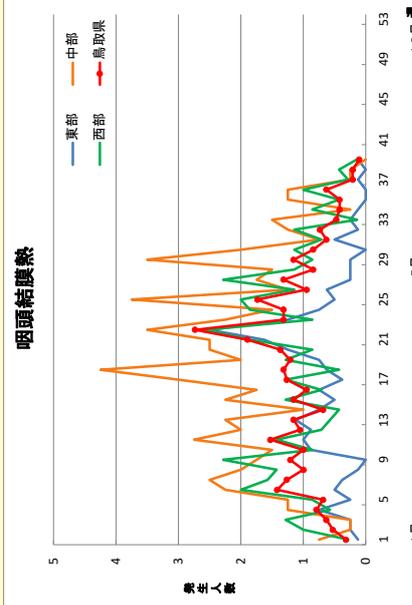
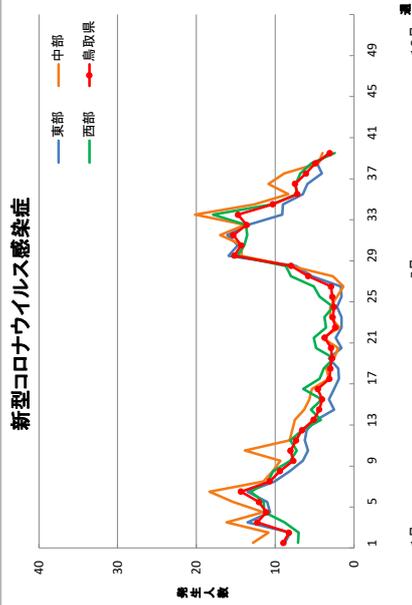
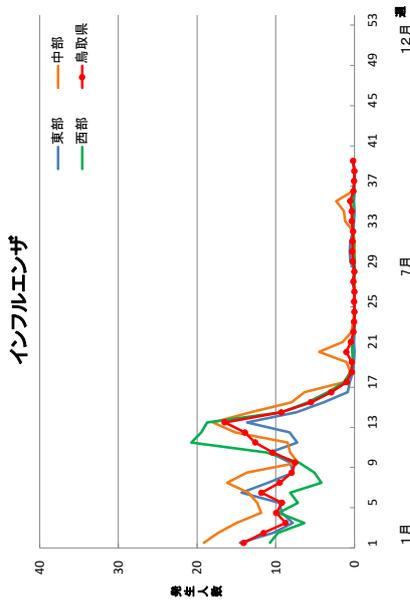
本年は9月末時点で昨年1年間の29件を超える32件の感染が報告されており、注意が必要です。感染した場合は、適切な治療が必要であり、早期発見することで感染症拡大防止につながります。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

令和6年第36週～第39週の報告患者数

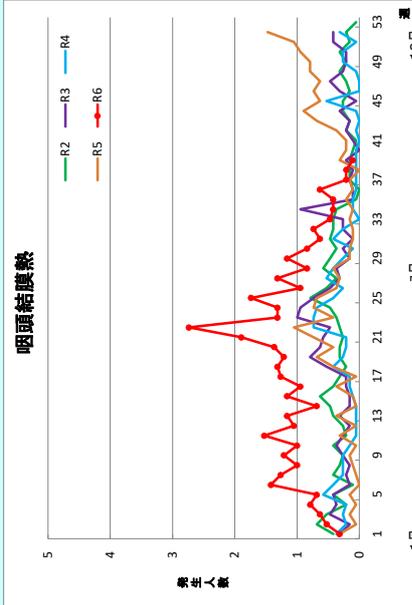
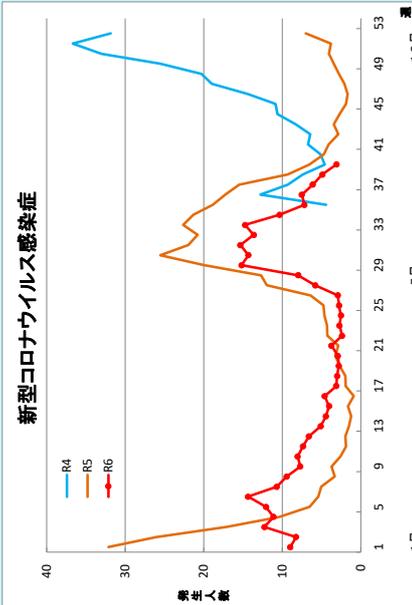
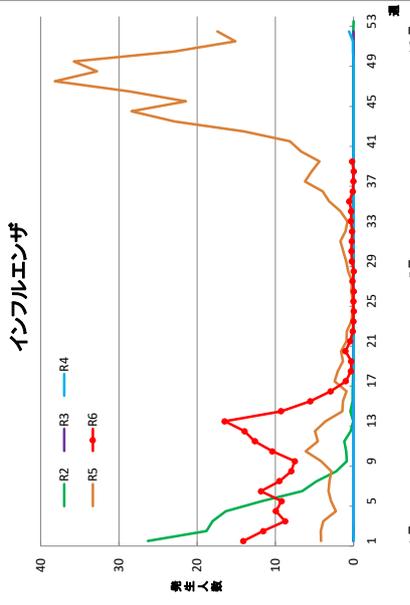
令和6年10月2日 作成

区 分	今回報告患者数 第36週～第39週(4週分)					前回報告患者数 第32週～第35週(4週分)				前々回報告患者数 第28週～第31週(4週分)				前回比 増 減	令和6年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	3	2	4	9	-31	4	30	6	40	19	0	2	21	-78%	4,852
2 新型コロナウイルス感染症	214	169	242	625	-704	456	330	543	1,329	649	321	560	1,530	-53%	8,398
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	2	7	13	22	-17	4	17	18	39	8	31	27	66	-44%	731
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	198	140	62	400	36	209	98	57	364	228	100	77	405	10%	5,074
5 感染性胃腸炎	139	67	51	257	67	89	43	58	190	111	46	71	228	35%	3,585
6 水痘	0	2	0	2	-6	8	0	0	8	9	2	0	11	-75%	105
7 手足口病	162	73	376	611	272	167	55	117	339	285	145	66	496	80%	1,798
8 伝染性紅斑	2	0	3	5	2	1	0	2	3	0	0	0	0	67%	11
9 突発性発疹	5	4	7	16	-1	6	6	5	17	6	4	7	17	-6%	161
10 ヘルパンギーナ	8	24	12	44	-11	5	30	20	55	23	38	60	121	-20%	390
11 流行性耳下腺炎	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0%	15
12 RSウイルス感染症	29	35	20	84	-26	26	35	49	110	80	23	133	236	-24%	783
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
14 流行性角結膜炎	2	3	0	5	0	4	0	1	5	1	0	2	3	0%	40
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	9
16 無菌性髄膜炎	2	0	0	2	-1	3	0	0	3	0	0	1	1	-33%	18
17 マイコプラズマ肺炎	3	1	0	4	3	1	0	0	1	0	0	0	0	300%	7
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	2	1	0	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0	200%	14
合 計	771	529	790	2,090	-415	983	646	876	2,505	1,419	711	1,007	3,137	-17%	25,993

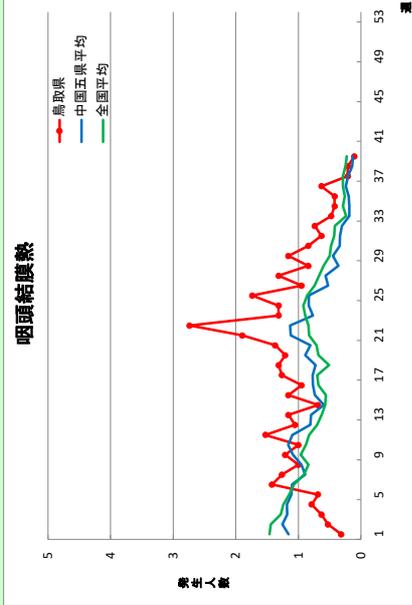
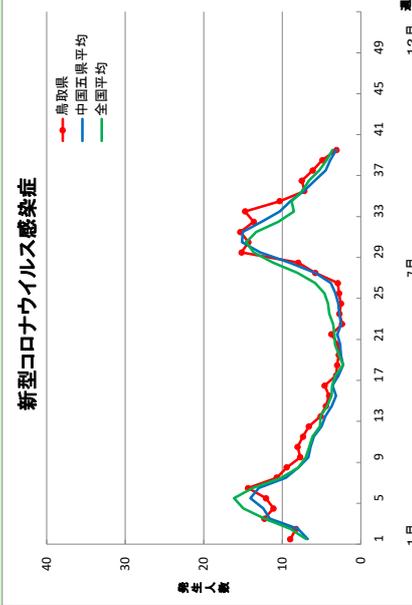
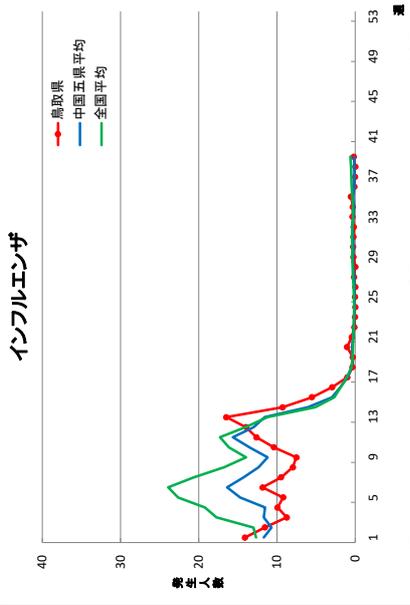
地区発生状況グラフ(定点当たり)



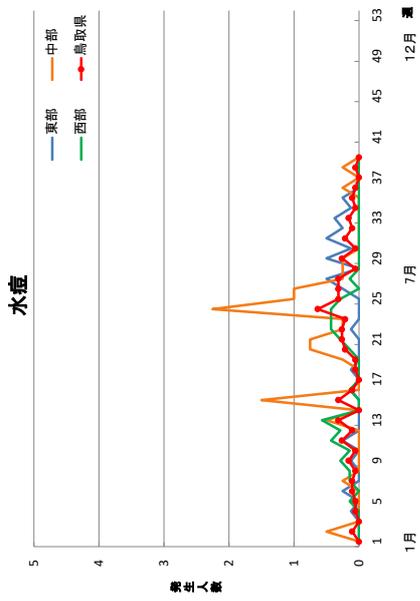
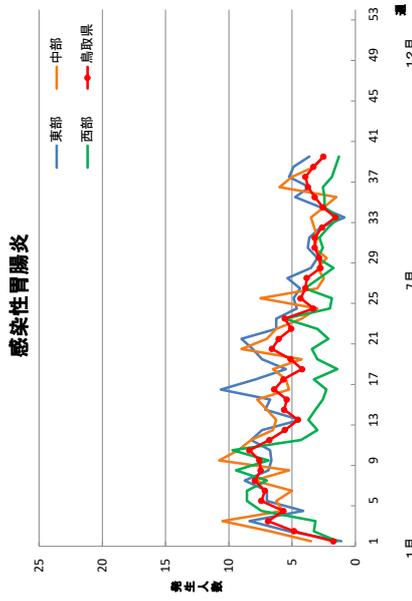
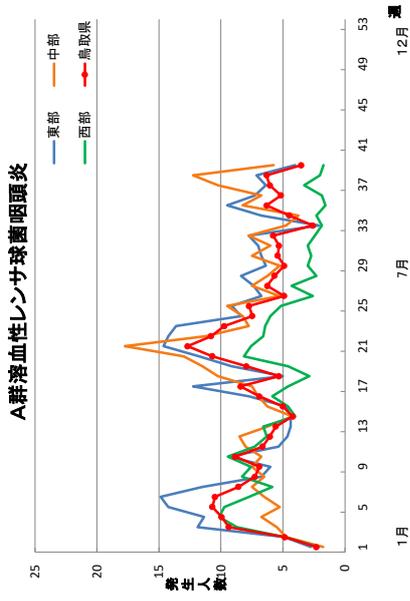
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



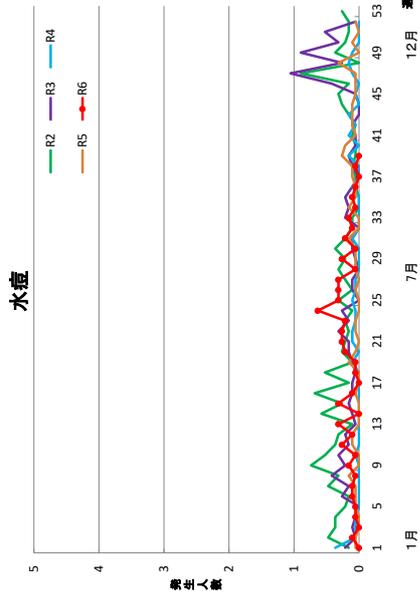
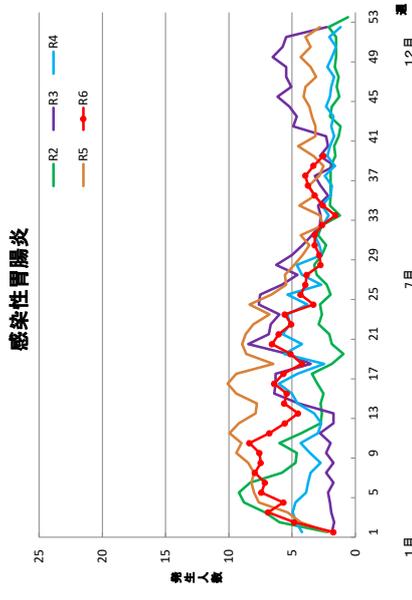
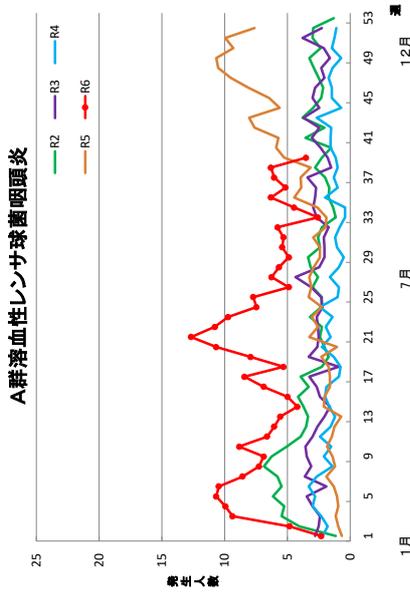
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



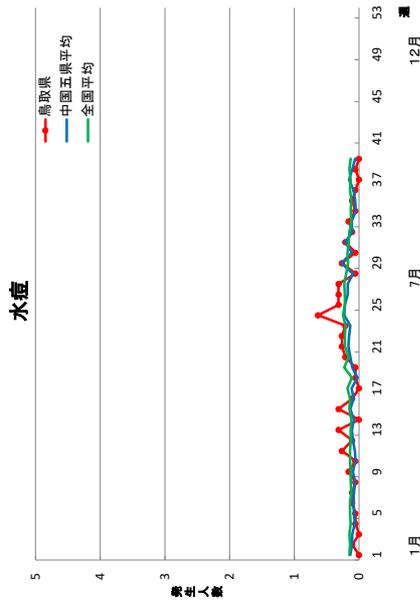
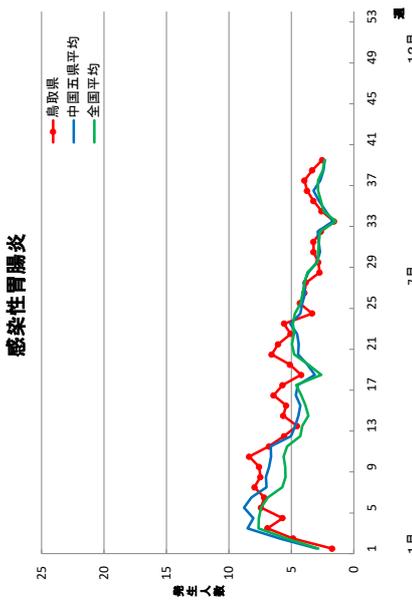
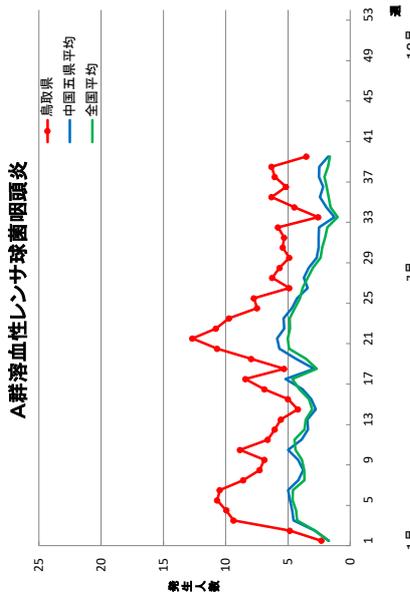
地区発生状況グラフ(定点当たり)



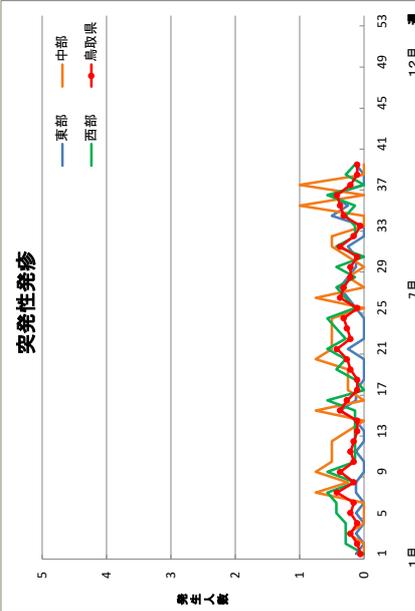
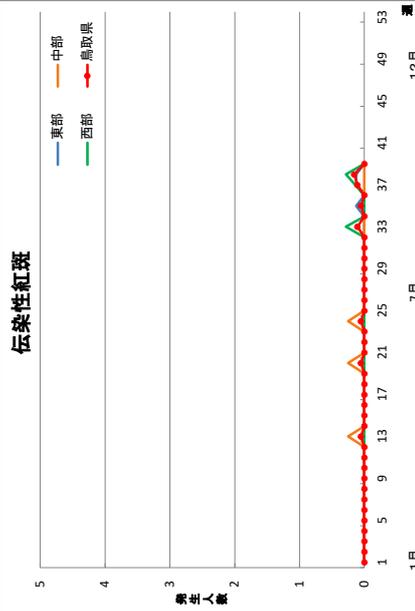
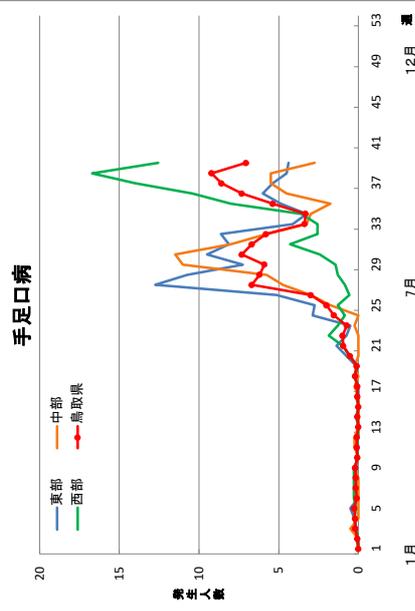
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



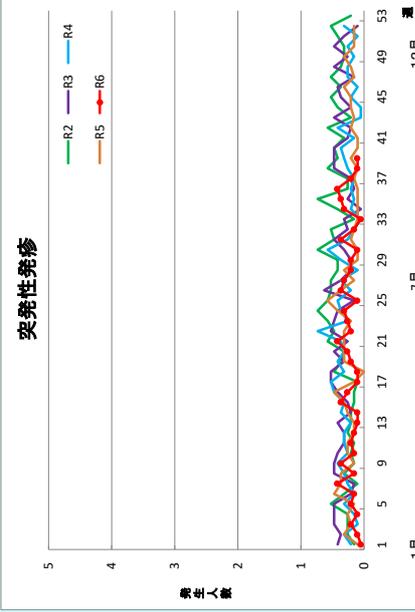
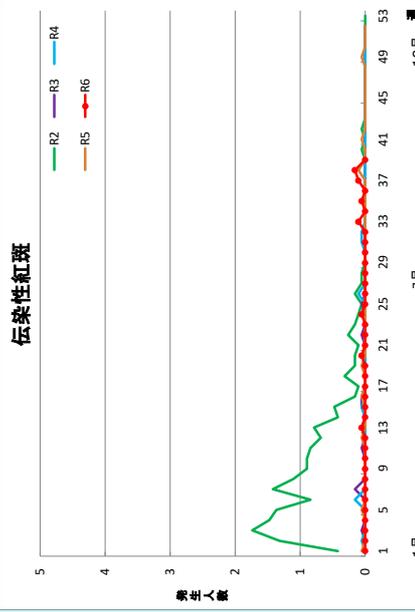
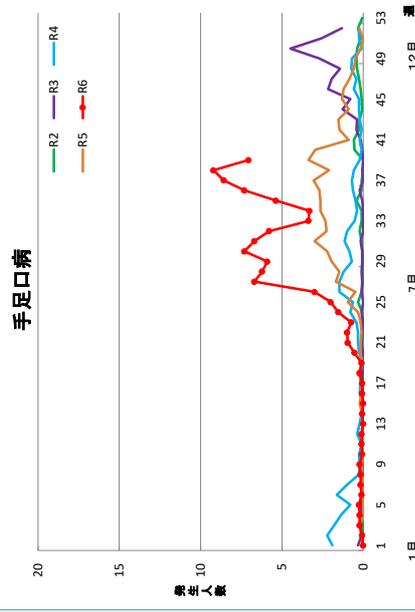
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



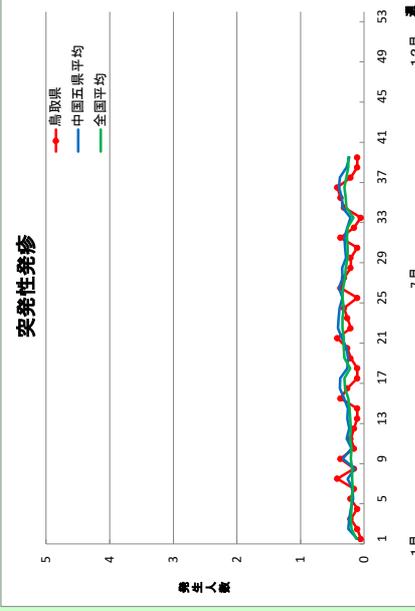
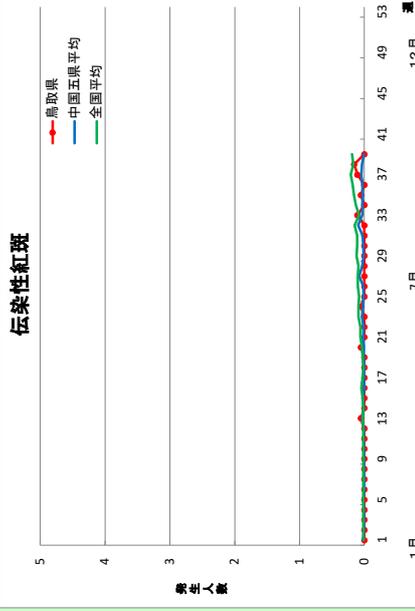
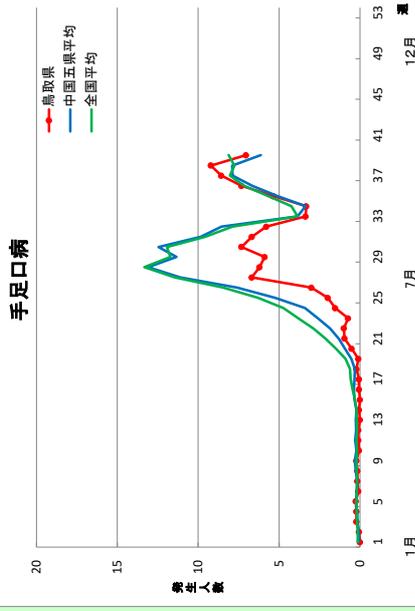
地区発生状況グラフ(定点当たり)



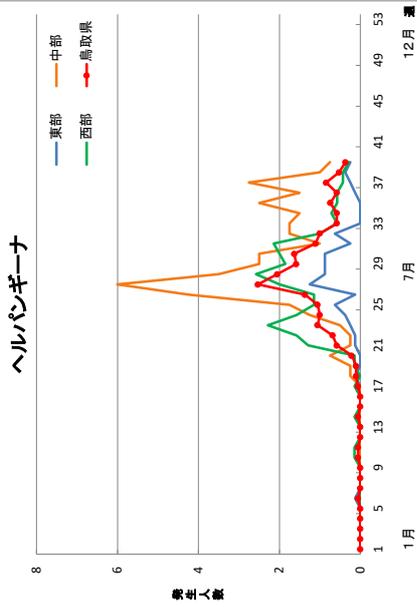
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



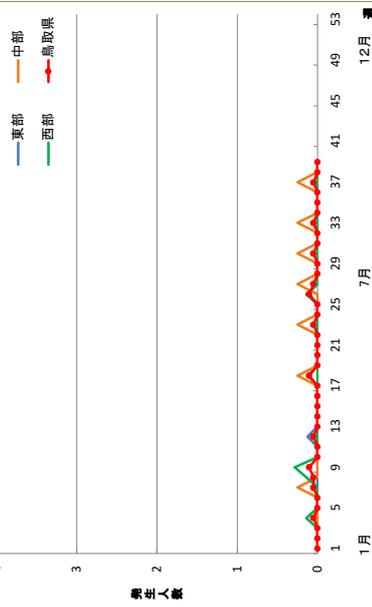
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



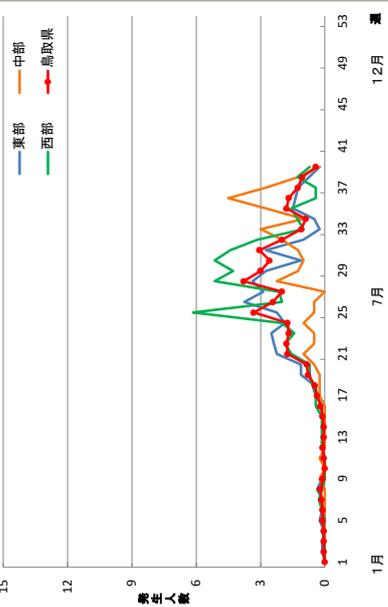
地区発生状況グラフ(定点当たり)



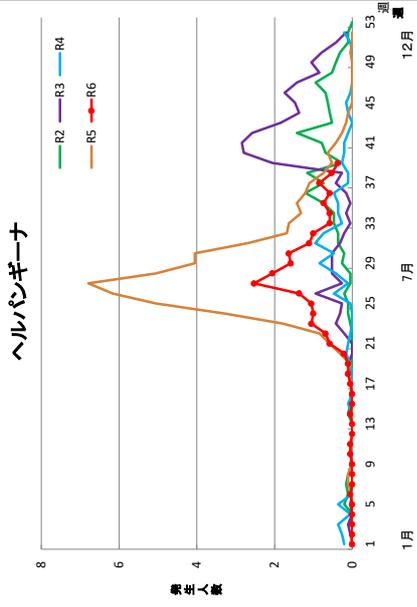
流行性耳下腺炎



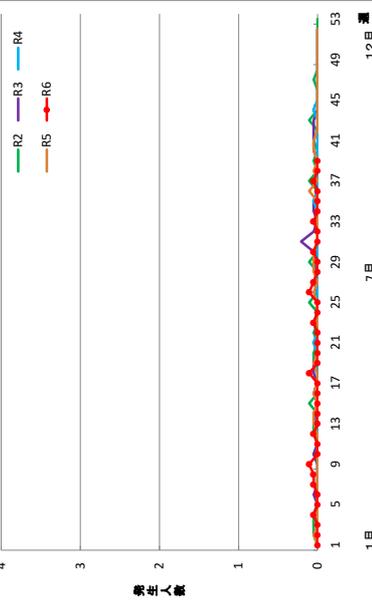
RSウイルス感染症



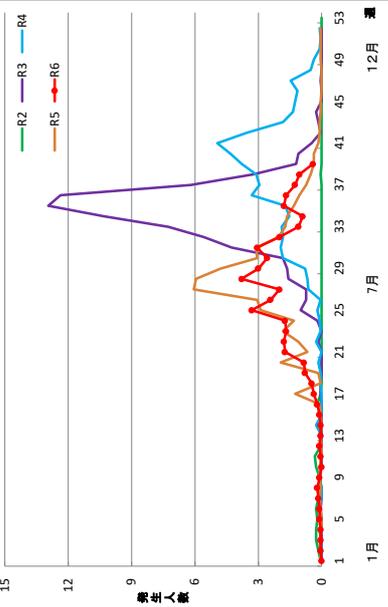
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



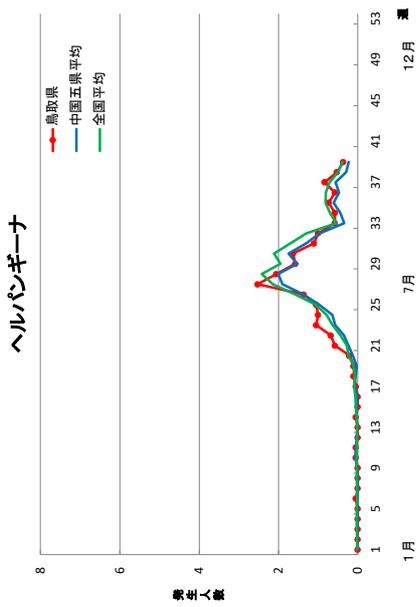
流行性耳下腺炎



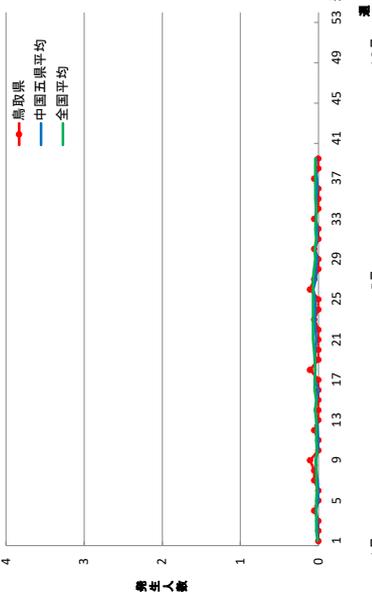
RSウイルス感染症



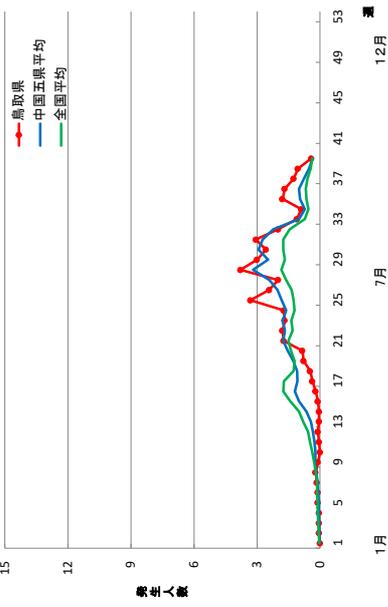
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



流行性耳下腺炎

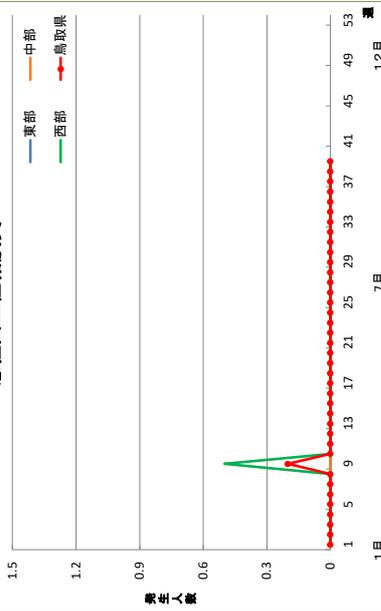


RSウイルス感染症

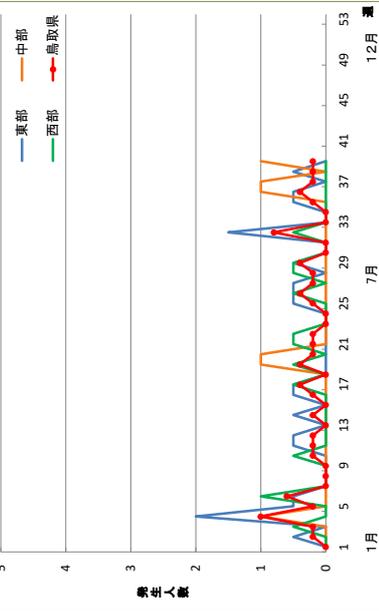


地区発生状況グラフ(定点当たり)

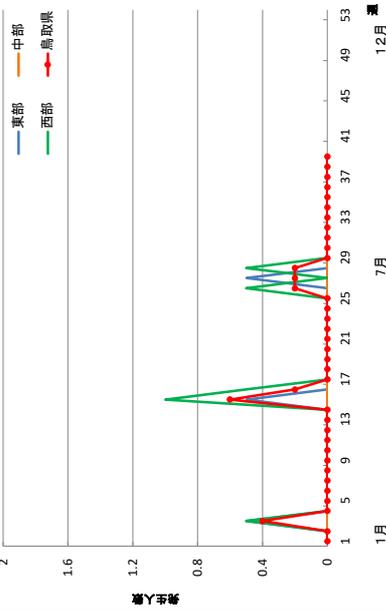
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

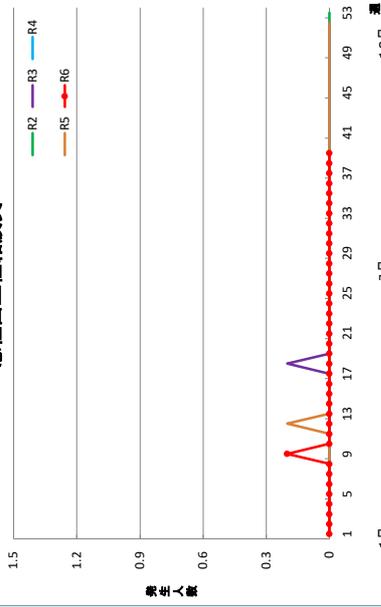


細菌性結膜炎

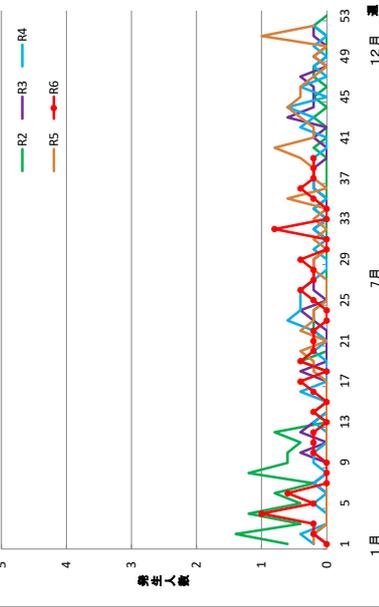


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

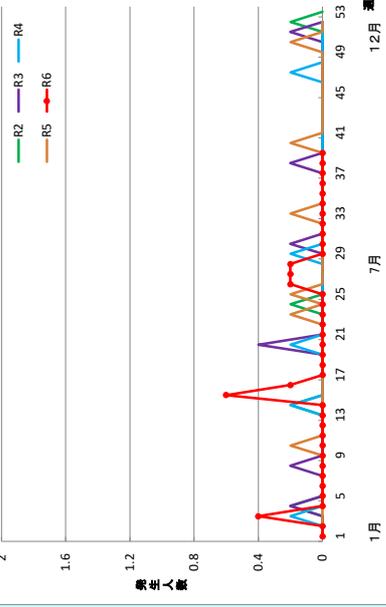
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

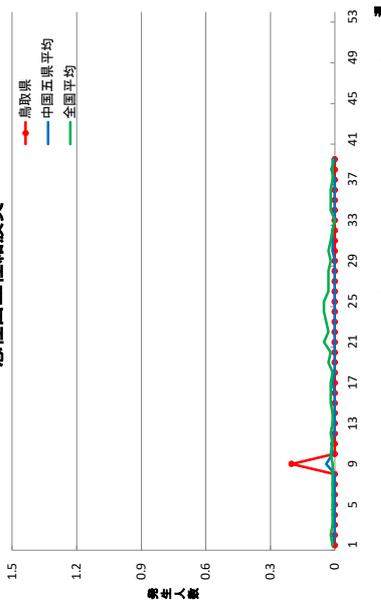


細菌性結膜炎

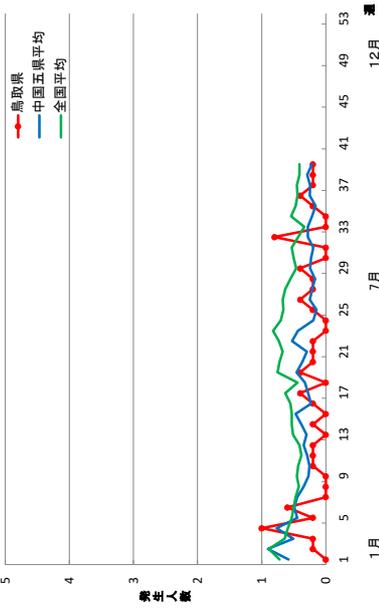


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

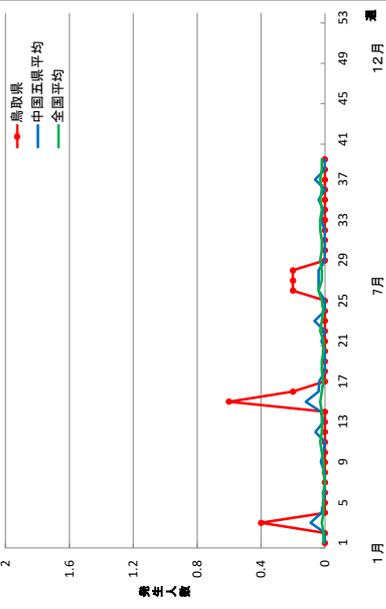
急性出血性結膜炎



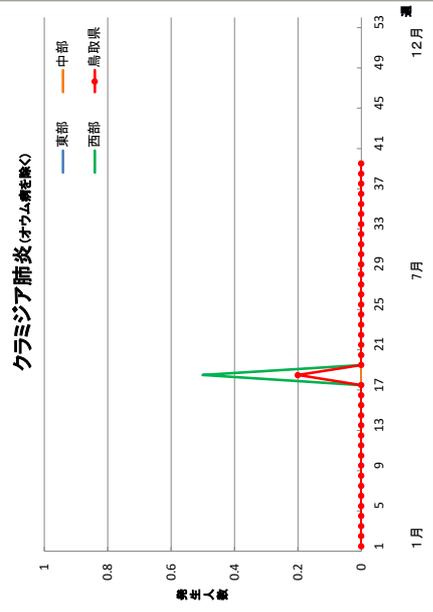
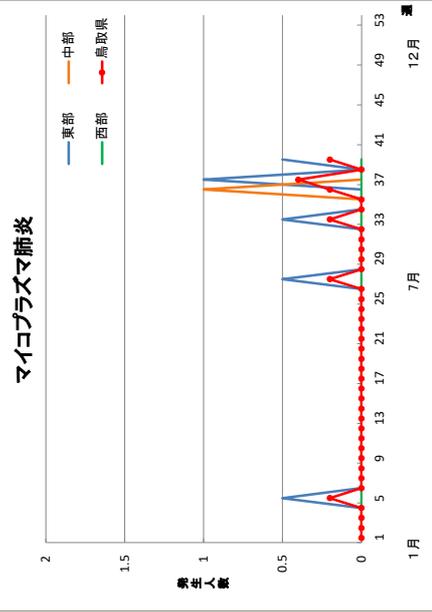
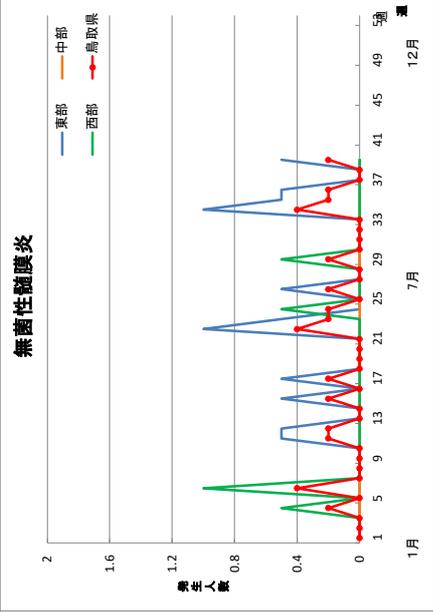
流行性角結膜炎



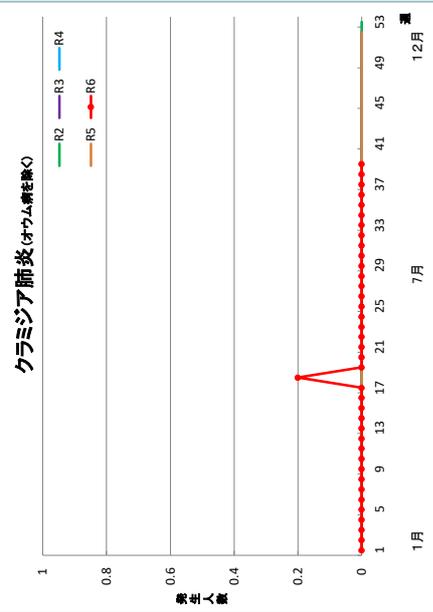
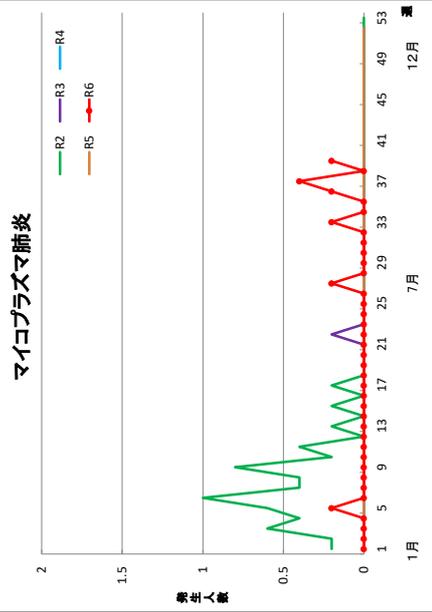
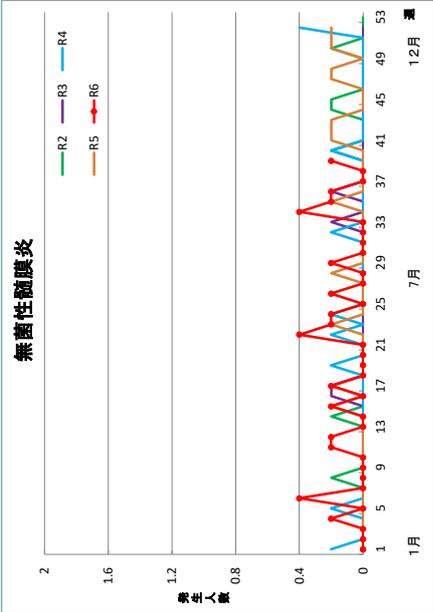
細菌性結膜炎



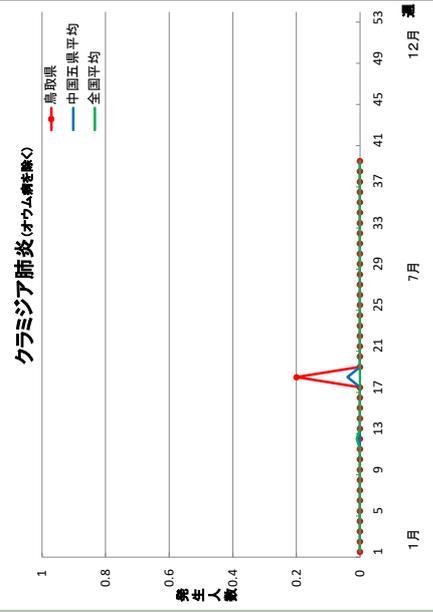
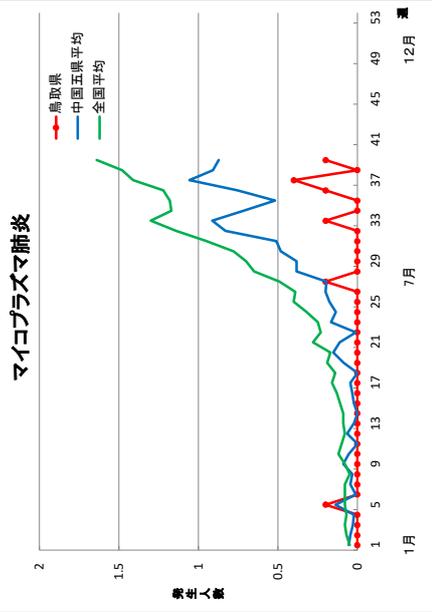
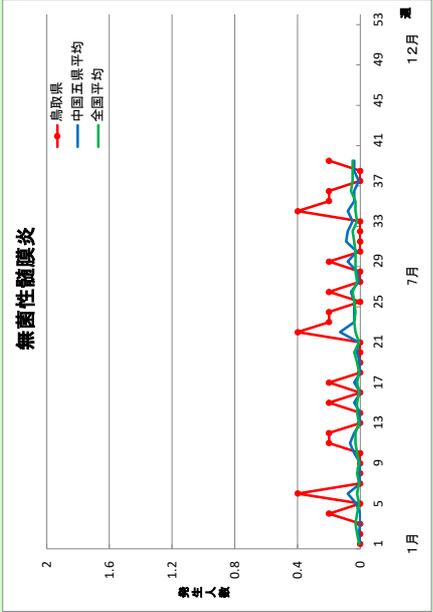
地区発生状況グラフ(定点当たり)



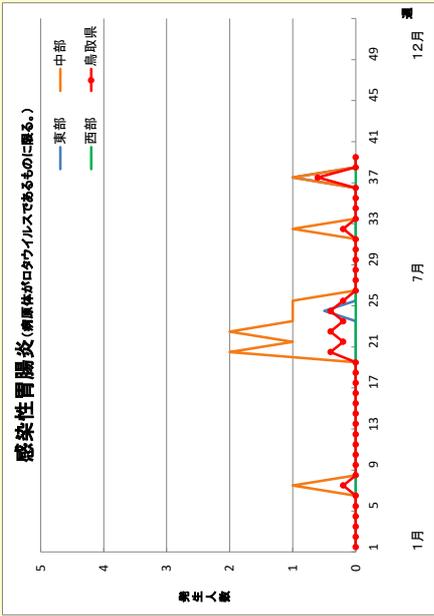
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



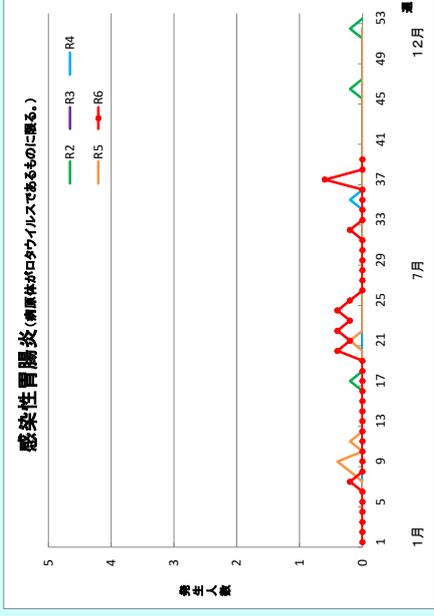
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



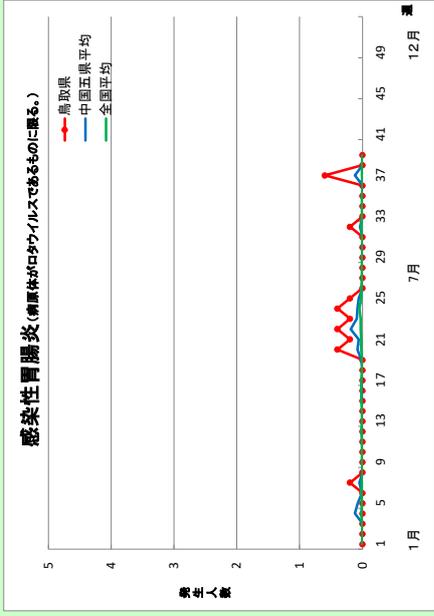
地区発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

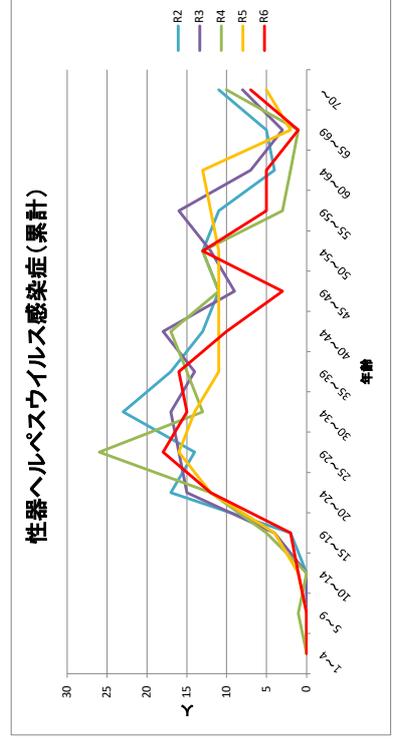
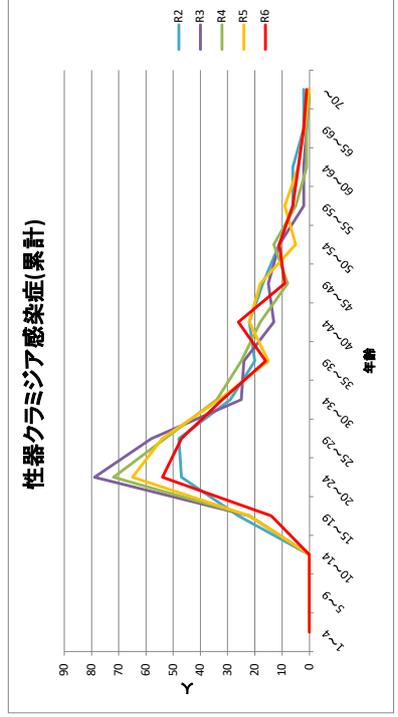
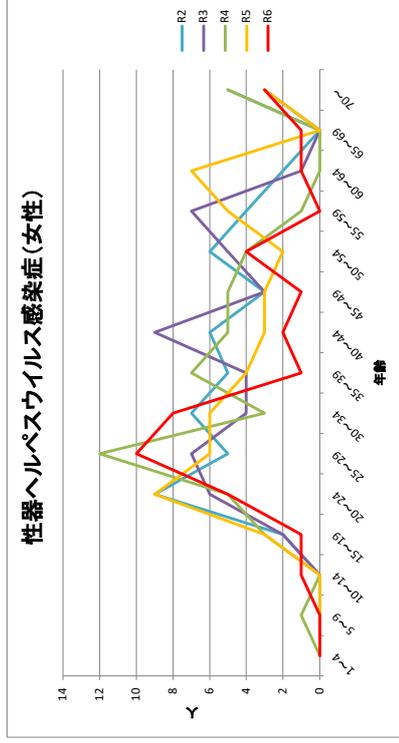
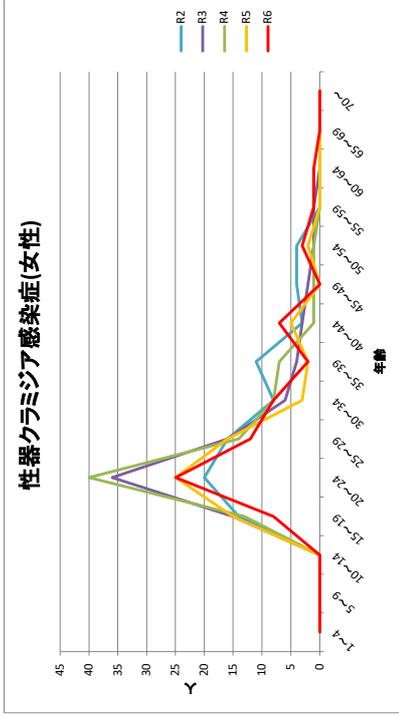
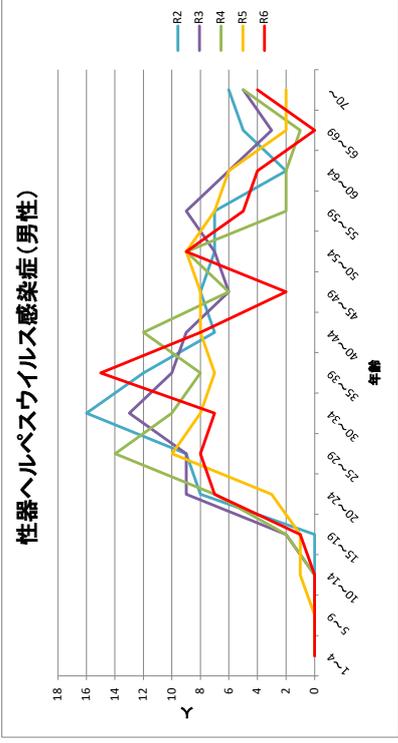
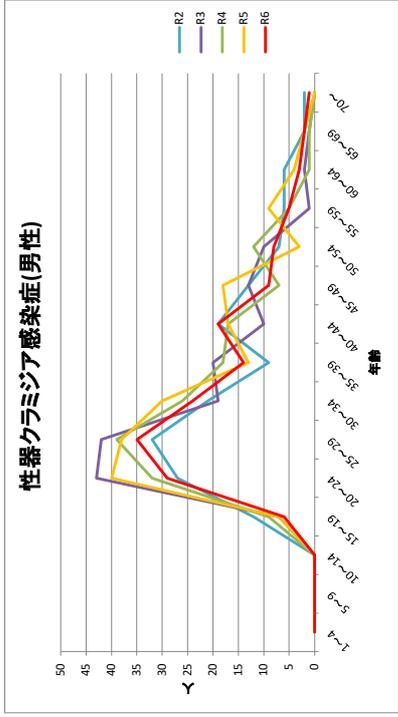


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

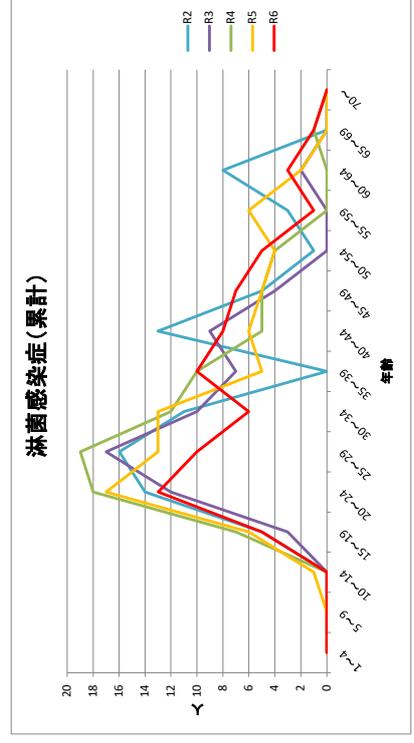
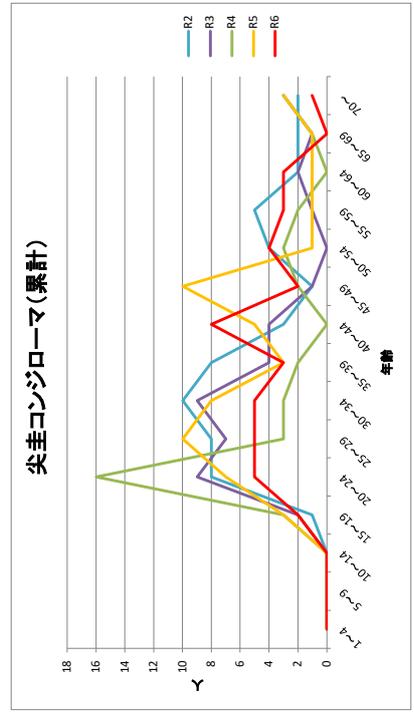
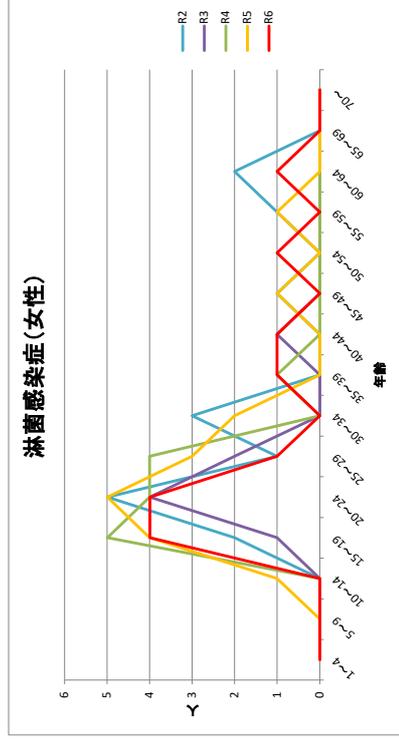
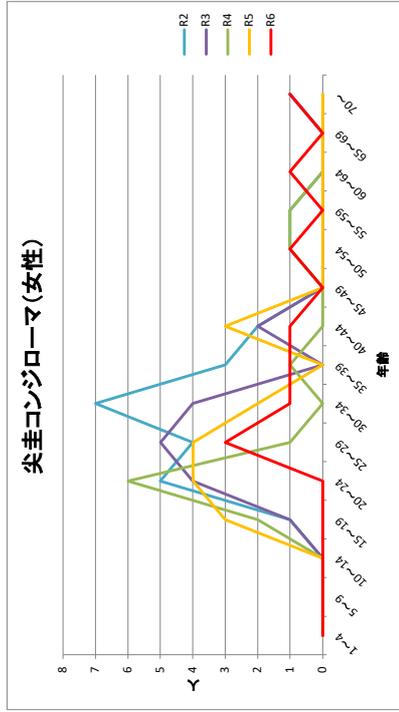
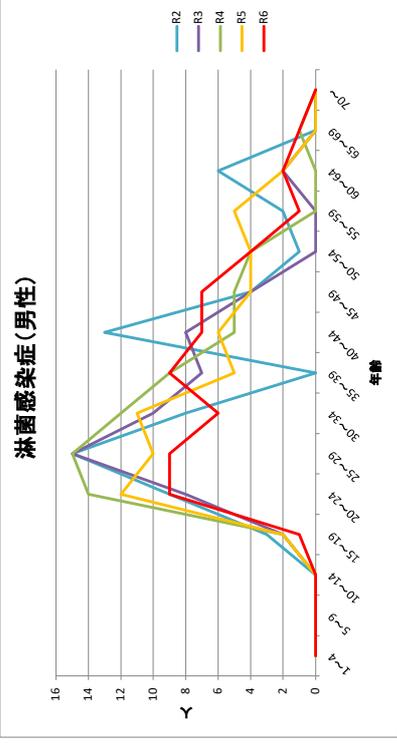
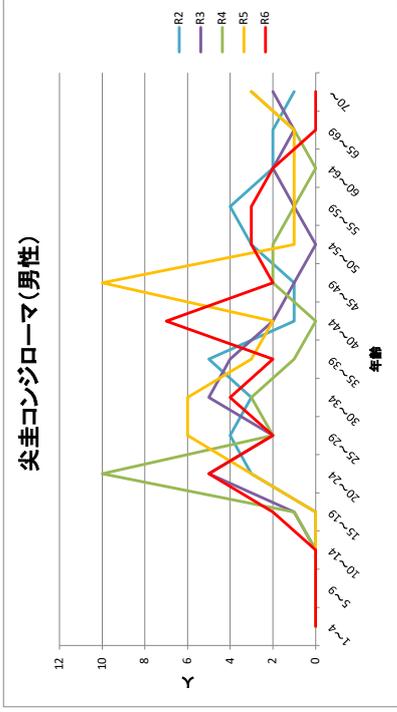


注) 新型コロナウイルス感染症は、令和5年第16週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

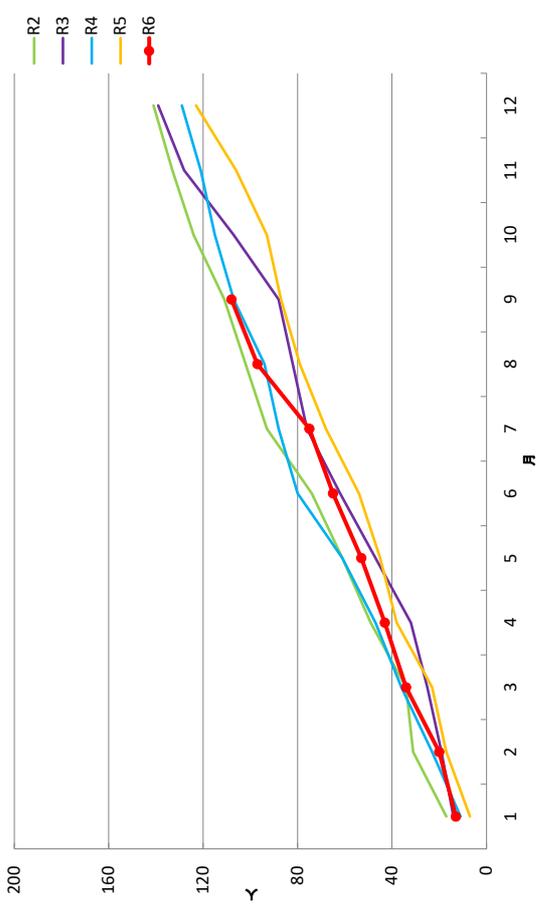
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



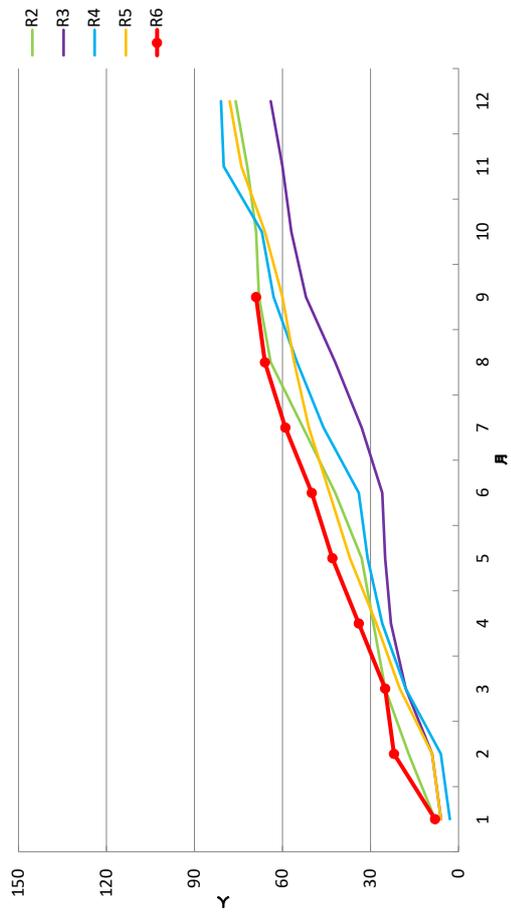
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



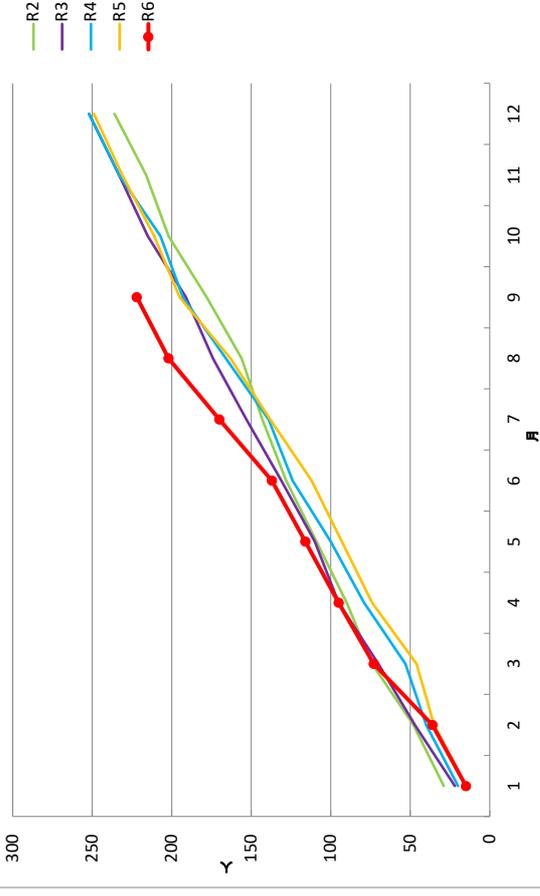
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



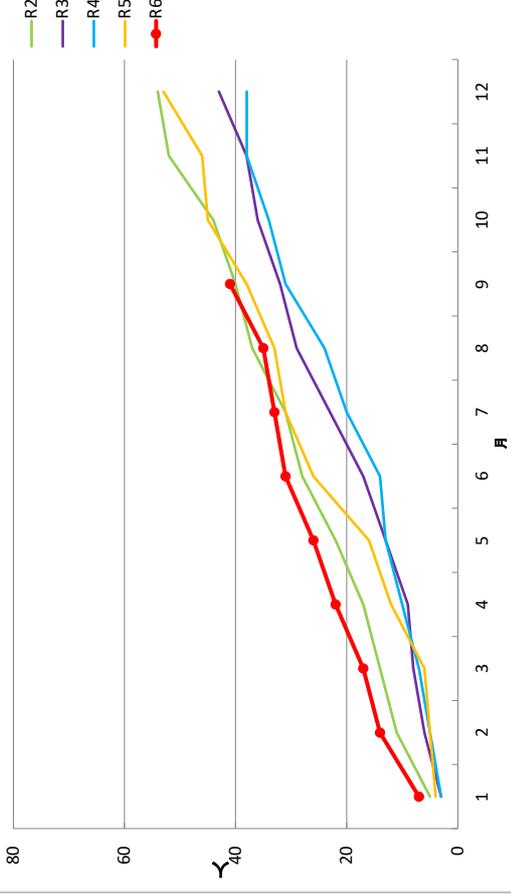
淋菌感染症報告状況(累計)



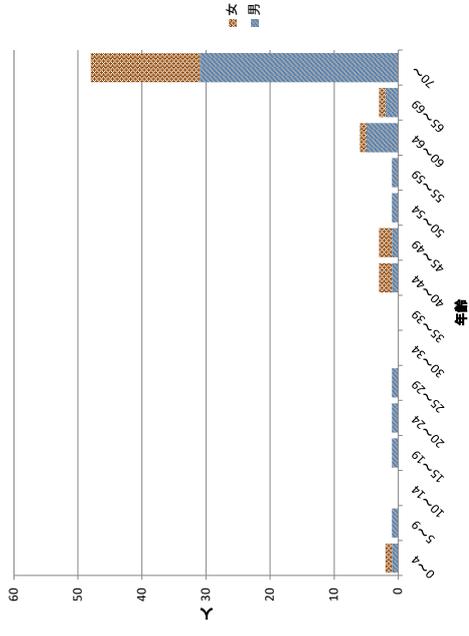
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



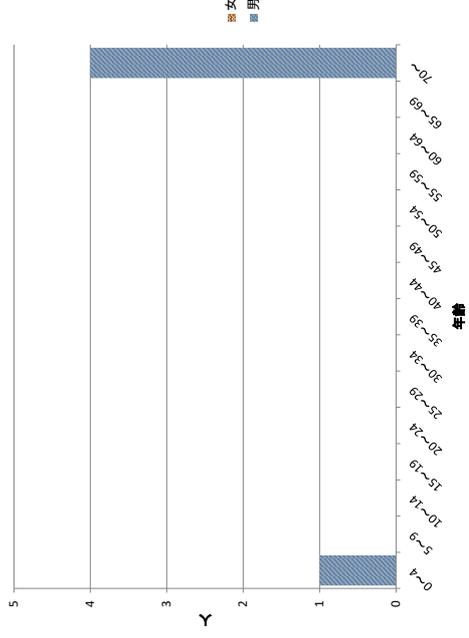
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



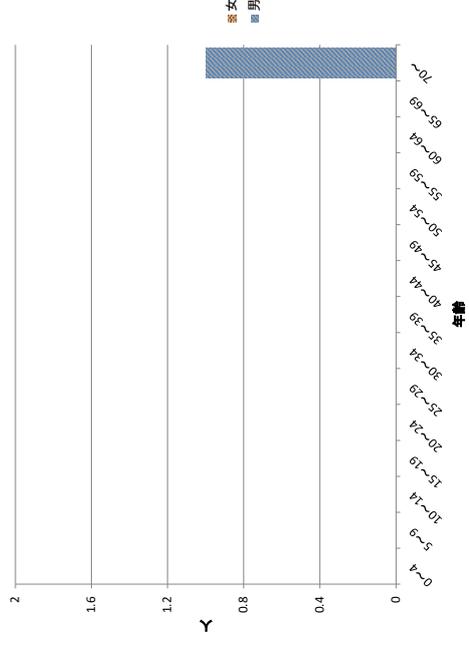
令和6年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(年齢別累計)



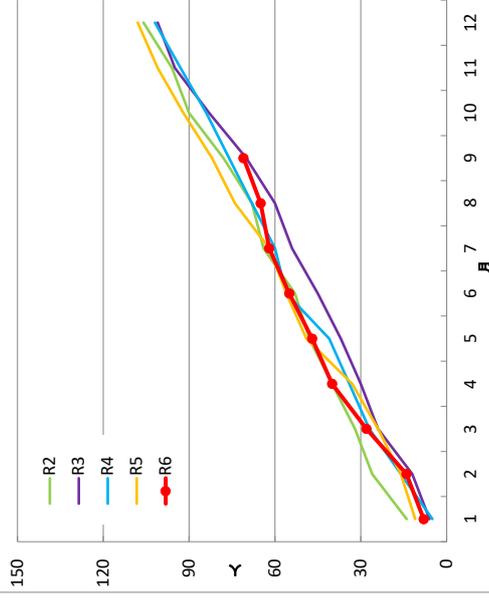
令和6年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
(年齢別累計)



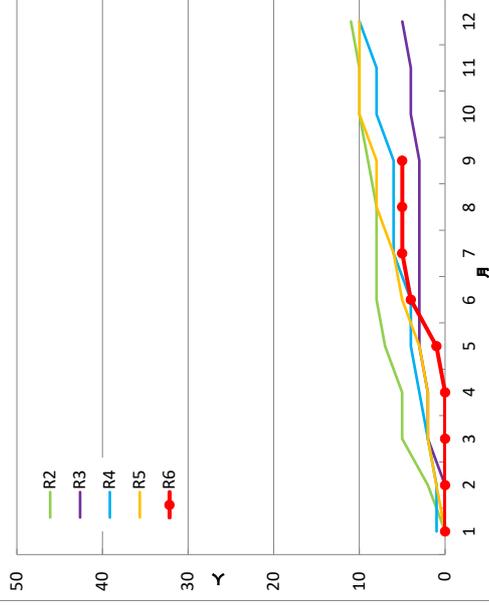
令和6年 薬剤耐性緑膿菌感染症
(年齢別累計)



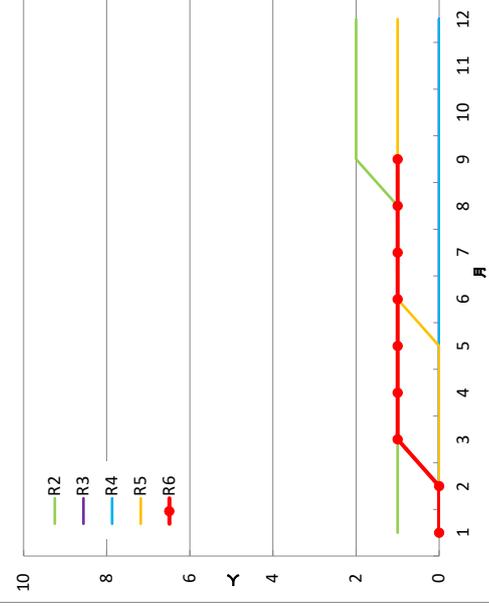
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和6年)

令和6年9月30日 現在

※()は前年数値

(1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計											
													9月時点	年間										
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)									
結核	3	(1)	2	(2)	5	(5)	6	(2)	3	(5)	6	(2)	1	(4)	7	(5)	5	(5)	(3)	(6)	(1)	38	(31)	(41)
潜在性結核 ※再掲	1				2	(2)	2		1	(1)	2		1									9	(6)	(7)
疑似症患者 ※再掲																						0	(0)	(0)
ジフテリア																						0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群																						0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群																						0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)																						0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)																						0	(0)	(0)

(2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計				
													9月時点	年間			
コレラ													0	(0)	(0)		
疑似症 ※再掲													0	(0)	(0)		
細菌性赤痢													0	(0)	(0)		
腸管出血性大腸菌感染症		1	1		5	2	(1)	1	3	(5)	1	(9)	(2)	(2)	14	(15)	(19)
腸チフス													0	(0)	(0)		
パラチフス													0	(0)	(0)		

(3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													9月時点	年間		
マラリア													0	(0)	(0)	
E型肝炎							(1)						0	(1)	(1)	
A型肝炎									1				1	(0)	(0)	
つつが虫病				(1)									0	(1)	(1)	
日本紅斑熱					1	(1)	1	2	2	(1)		(1)	6	(2)	(3)	
重症熱性血小板減少症候群			(1)			1			1	(1)			2	(2)	(2)	
レジオネラ症	(1)			(1)	2	(2)	1	(2)	1	(1)		(1)	(1)	5	(8)	(11)
レプトスピラ症													0	(0)	(0)	
デング熱						(1)							0	(1)	(1)	
チクングニア熱													0	(0)	(0)	

(4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計											
													9月時点	年間										
アメーバ赤痢			(1)	1		(1)	1			(1)			2	(2)	(3)									
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)				(1)					1				1	(1)	(1)									
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)				(1)									0	(1)	(1)									
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	1	(1)		1	(2)			(1)					2	(4)	(4)									
クリプトスポリジウム症		(1)											0	(1)	(1)									
クロイツフェルト・ヤコブ病			1										1	(0)	(0)									
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	(1)		2	1	(1)	(1)	1	(1)	(1)		(1)	7	(5)	(6)									
後天性免疫不全症候群			(2)		(1)				1				1	(3)	(3)									
無症候性キャリア ※再掲			(1)		(1)								0	(2)	(2)									
AIDS ※再掲			(1)						1				1	(1)	(1)									
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1			1	(2)			(1)			2	(2)	(3)									
侵襲性髄膜炎菌感染症													0	(0)	(0)									
侵襲性肺炎球菌感染症	1	(1)	(1)	2	(1)	3	3	(2)	(2)	1		(1)	10	(7)	(8)									
水痘(入院例に限る。)					1		1					(1)	2	(0)	(1)									
梅毒	2	(1)	5	(6)	1	(1)	2	(4)	2	(3)	5	(4)	7	(1)	6	(1)	2	(4)	(1)	(2)	(1)	32	(25)	(29)
播種性クリプトコックス症			(2)	1									1	(2)	(2)									
破傷風								1					1	(0)	(0)									
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	(0)	(0)									
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		(2)	(1)	1	2				1		(1)	(4)	4	(3)	(8)									
ジアルジア症													0	(0)	(0)									
百日咳	5	6	2	1	(1)	1	(1)	7	(1)	37	55	54	168	(3)	(3)									
麻しん						(1)							0	(1)	(1)									
風しん													0	(0)	(0)									

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													9月時点	年間	
令和6年		1	1		5	(2)	2	(1)	1	(1)	3	1	(1)	14	(5)
令和5年						1			5	9	(3)	2	(2)	2	(1)
令和4年		2	(2)				1		2	3			3	(1)	3
令和3年	1		3	(2)	1	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)		10	(6)
令和2年			1		2	(1)	7	(1)	2	3	(2)	7	(4)	3	(1)
令和元年		1	1	(1)	6	(1)	1	2		4	(1)	3	(2)	4	2
平成30年					3		1	4	(2)	9	4	1		17	(2)
平成29年	1	(1)		1	1	(1)	7	(3)	5	(2)	1		4	(3)	1
平成28年						5	(4)	3	(1)	6	(1)	1		1	(1)
平成27年						3	(2)	33	(23)	12	(7)	10	(6)	1	(1)
平成26年						7	(4)	1	1	1	5	(3)		9	(4)
平成25年		1	(1)		1		6	7	(3)	4	(1)	7	(2)	15	(4)
平成24年						2	1	5	(1)		6	(2)		8	(1)
平成23年			1	5	(2)	3	(2)	2	(1)	3	(1)	4	(2)	1	1

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O55	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和6年		1		2	(2)			2					1	(1)	7	(1)
令和5年		1	(1)											17	(4)	1
令和4年						3						2	(2)	8	1	(1)
令和3年						4	(2)					1	(1)	3	(1)	2
令和2年	1	4	(2)	1		4	(2)	3	(1)	1	(1)	1	1	7	3	(2)
令和元年						3	(1)	4	(1)					15	(3)	2
平成30年		2				3						1		16	(2)	
平成29年		1				2	(1)	4	(3)				1	(1)	10	(3)
平成28年		1	(1)										14	(5)	1	(1)
平成27年		40	(28)		1	4	(2)	1				1	(1)	9	(4)	4
平成26年		7	(4)					5	(3)				3			15
平成25年		3	(1)						1				21	(5)	1	(1)
平成24年													15	(3)		15
平成23年		9	(4)			2	(1)						7	(2)	2	(1)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計						
令和6年	3	1	1	1	(1)	3	(1)	1	(1)	2	(1)	1	14	(5)				
令和5年	1	2	(1)	1	1	4	(1)	2	(1)	4	(3)	2	19	(6)				
令和4年	5	1	2	1	1	2	(1)			2	(2)		14	(3)				
令和3年	1		1	(1)	1	(1)		1	(1)	1	(1)	3	(2)	2	10	(6)		
令和2年	7	2	2	2	1	(1)	4	(4)	3	(1)	3	(3)		2	26	(9)		
令和元年	9	(2)	2		4	(3)	2		1	(1)	3	(1)	3		24	(7)		
平成30年	2	2			10	(1)	3	(1)	1	2	1		1		22	(2)		
平成29年	3	(1)	1	2	(1)	2	(1)	2	(2)	4	(3)	4	(1)	1	21	(11)		
平成28年	4	4	(3)		1	2	(1)	3	(2)	1	(1)			1	16	(7)		
平成27年	22	(13)	18	(12)	2	(1)	2	(2)	4	(4)	6	(3)	1	(1)	3	(2)		
平成26年	6	(1)	3	(1)			2	(2)	2	(2)	1		1	(1)		15	(7)	
平成25年	6	2	3	(1)	1	3	(1)	1	2	(1)	1	(1)	2	(1)	3	(1)	26	(7)
平成24年	3	3	(1)	3	1	2	2	(2)		1						15	(3)	
平成23年	4	(1)	5		3	(1)	3	(2)		1	(1)	2	(2)	1	1	(1)	20	(8)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計				
令和6年		4	10	(5)	14	(5)		
令和5年	3	(1)	7	(1)	9	(4)	19	(6)
令和4年	5	(1)	6	3	(2)	14	(3)	
令和3年	4	(2)	3	(2)	3	(2)	10	(6)
令和2年	3	15	(5)	8	(4)	26	(9)	
令和元年	6	(2)	14	(3)	4	(1)	24	(6)
平成30年	7	5	10	(2)	22	(2)		
平成29年	1	8	(4)	12	(7)	21	(11)	
平成28年	2	(1)	12	(5)	2	(1)	16	(7)
平成27年	4	(4)	45	(31)	11	(4)	60	(39)
平成26年	1	8	(4)	6	(3)	15	(7)	
平成25年	4	(1)	9	(3)	13	(3)	26	(7)
平成24年	7	(2)	1	7	(1)	15	(3)	
平成23年		2	(1)	18	(7)	20	(8)	

鳥取県病原微生物検出情報（令和6年8月検出分；検体採取 令和6年8,9月）

令和6年10月18日
鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

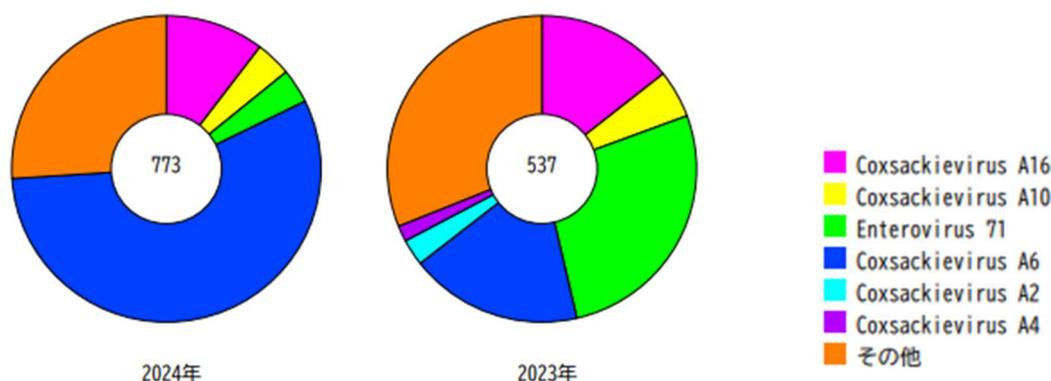
臨床診断名がインフルエンザ様疾患の検体2件（検体採取9月上旬）について検査を実施したところ、1件からインフルエンザウイルスを検出し、型はA（H1N1）pdm09型であった。

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体3件について検査を行ったところ、1検体からアストロウイルスが検出された。他の2検体はノロウイルス、サポウイルス、A群ロタウイルス、C群ロタウイルス、アデノウイルス（40/41型）、アストロウイルスのいずれも検出されなかった。

3 手足口病

臨床診断名が手足口病の検体2件について検査を行ったところ、2件いずれもコクサッキーA16型が検出された。コクサッキーA16は、2023年、2024年いずれも手足口病から上位で検出されている代表的な型の1つである。



出典：国立感染症研究所 IASR 速報グラフより抜粋

4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の検体1件について検査を行ったところ、RSウイルスは検出したものの型は判明しなかった。

5 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の検体3件についてアデノウイルス、エンテロウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルス1~7の検査を実施したところ、1検体からエンテロウイルス（型不明）、他の1件体からヘルペスウイルス7を検出した。残りの1件体からはいずれのウイルスも検出されなかった。

6 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件について検査したところ、アデノウイルスD8型が検出された。D8型は流行性角結膜炎から検出される代表的な型の1つである。

7 A群溶連菌感染症

臨床診断名がA群溶連菌感染症の検体1件について検査を行ったところ、A群溶連菌は検出したものの型は判明しなかった。

新型コロナウイルスゲノム解析結果

令和6年10月18日
鳥取県衛生環境研究所

- 検体搬入日：2024年8月27日（火）、9月4日（水）、9月25日（水）、10月2日（水）
- 解析件数：162件（搬入件数：172件 重複やCT値>30等の検体を解析から除く）
- 結果概要：KP.3系統（JN.1亜系統）：137件（94%）（解析不能は計算から除外）

表1 鳥取県新型コロナウイルスゲノム解析結果（検体採取日：7月30日～10月1日）

系統	Lineage (pangolon)	検出数	備考	前回の検出数
KP.3系統	KP.3	2	JN.1の亜系統	11
	KP.3.1系統	22		22
	KP.3.2系統	3		2
	KP.3.3系統	110		103
KP系統（KP.3以外）	KP.1系統	0		1
	KP.2系統	1		2
LB.1系統	LB.1.2	0		1
	LB.1.3	0		2
JN.1系統	JN.1系統	4	BA.2.86の亜系統	0
組換え体(XBB以外)	XDQ.1	0	BA.2.86.1とFL.15.1.1の組換え系統	1
	XDV.1	3	XDE系統とJN.1系統の組換え系統	0
	XDY	1	KP.3.2とLB.1.2.1の組換え系統 新規に検出した	0
解析不能		16		32
合計		162		177

※赤字の系統：現在流行中の注目すべき変異株（VOIs）（WHO指定）（2024.6.28更新）→BA.2.86系統, JN.1系統

※青字の系統：現在流行中の監視下の変異株（VUMs）（WHO指定）（2024.7.19更新）→JN.1.7, KP.2, KP.3, KP.3.1.1, JN.1.18, LB.1

ゲノム解析結果の推移(月別)

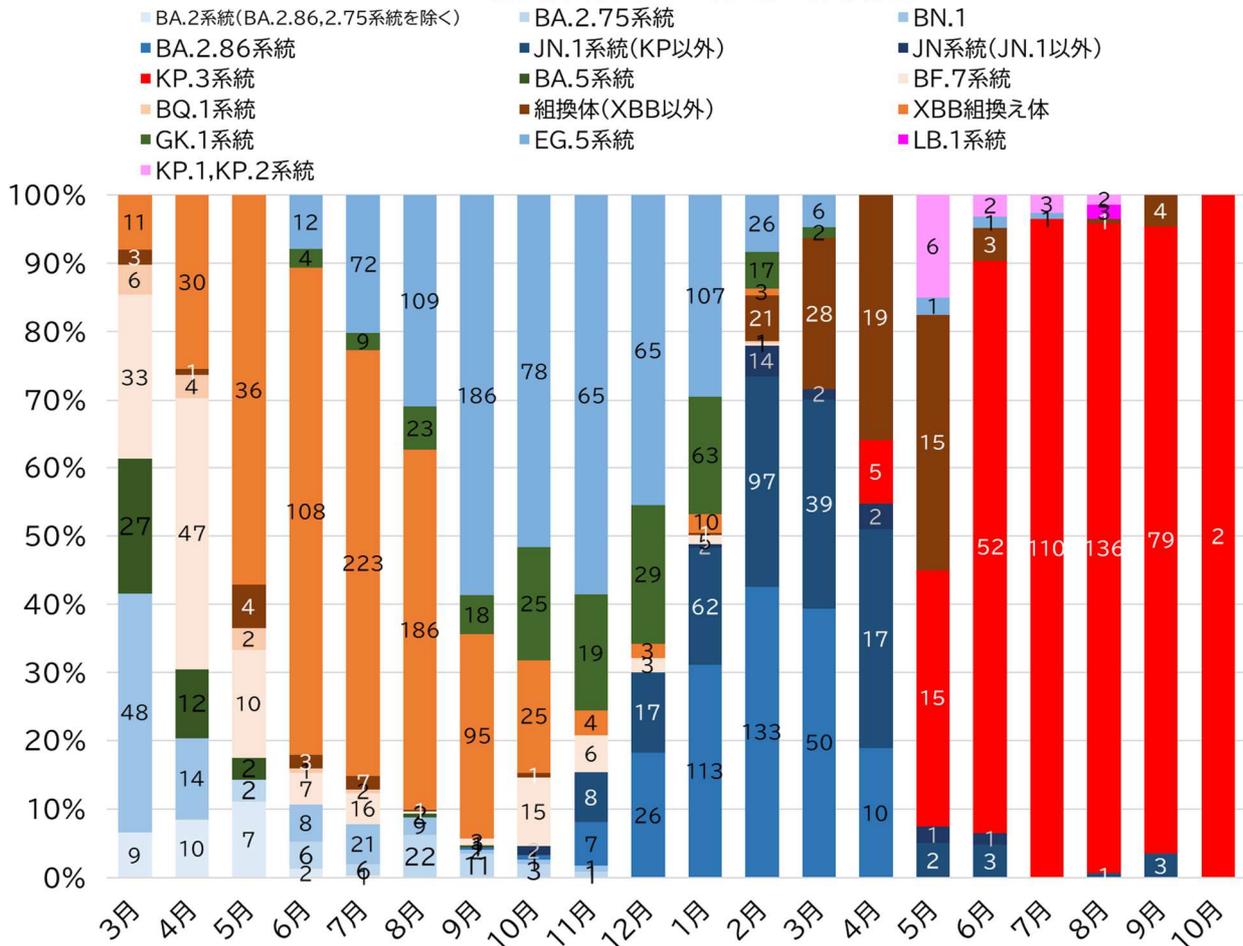


図1 月別新型コロナウイルスゲノム解析結果（2023/24シーズン）

